投資事業再評価調書(継続)

農林水産部農水産局	記入責任者職氏名	農地整備課長		4003
部課室名 農地整備課		板井 丈夫	内 線	
	(担当者氏名)	(盛 健二)		(4014)

#業種目 は場整備 「県営は理整備事業 (担い手育成型) 「八多地区 「内田地価値段 約1億円 (担い手育成型)			T-							
所 在 地	事業種目に場整備		事業名		事業区間		総事業費	約23億円		
事業 第本地区の地形は小起伏丘陸地で、大部分が棚田であり、区画もである。 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日1 日					八多地区		内用地補償費	約1億円 		
#戸市北区八多町	所	在 地		· /	事業採択	着工年度	完成予定	進捗率		
#戸市北区八多町								(内用補進捗率)		
本地区の地形は小起伏丘陵地で、大部分が棚田であり、区画も小区画・不整形で、用排水路・農道等が未整備なため、営農に多大な時間を要し、不安定な農業 と場合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残士等を活用して、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残士等を活用して基盤盛士を行った後、に場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残士が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、両工事も平成12年度で完了したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。といかし、中で、中域・地域・分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 (1)必要性 当地区は、水稲、海来を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要しているが、内況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の生産性の高い農業構造を実現する必要がある。によ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 (2)有効性・効率性 投資効率1、03、所得償還率7、8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。によ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 (3)環境適合性 関連域で発生する公共残士を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、は、場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 詳価 継続妥当 上記内容により継続が妥当と認められた。	神戸市	市北区八多町				H 4		,		
分が棚田であり、区画も小区画・不整形で農産学校・本整備なため、農産に多大な時間を要し、不安定な農業経営を強いられていた。 に場整備により、耕地の区画形質の改善、用排水路や農道等のを定化を図る。		事業の	目的		•	1	事業内	容		
で、用排水路・農道等が未整備なため、営農に多大な時間を要し、不安定な農業経営を強いられていた。 「は場整備により、耕地の区画形質の改善関化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残士等を活用して基盤盛士を行った後、には場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い対策土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。 が1が、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、医の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善に実施し、代せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 「2)有効性・効率性投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。には整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 「3)環境適合性関心地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「2)積減適合性関心地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「2)積減適合性関心地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「2)積減適合性関心地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「2)積減適合性関心地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「4)優先性営ので流域が発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「2)前に対域を発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極を進めており、早期に事業完成する必要がある。 「2)前に対域を発生する公共成社が発生する公共成社が発生する公共成社が発生する公共成社が発生する公共成社が発生する公共成社が発生を表しているのは対域を対域を発生する公共成社が表しているのは対域を発生するのは対域に対域を発生する公共成社が表しているのは対域を表しているのは、対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しませているのは対域を表し、対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しなどのは対域を表しなどのは対域を表しなどのは対域を表しているのは対域を表しているのは対域を表しなどのは対域を表しなどのは対域を表しているのは対域を表しなどのは対域を表しなどのは対域を表しなどのは、対域を表しないるのは、対域を表しなどのは、	本地区(の地形は小起ゲ	伏丘陵地で、大部	区 i	画整理 9	3 h a				
世界に多大な時間を要し、不安定な農業 というでは、	分が棚田	であり、区画:	も小区画・不整形	;						
経営を強いられていた。 「は海整備により、耕地の区画形質の改善、用非水路や農通等の整備、農地の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残土等を活用して基盤盛土を行った後、は場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。 しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 「1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団の改善、開排水路、農道等の整備を促進し、生産性の高い農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 「2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。「よ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 「3)環境適合性 「2)有効性・効率性 対策適合性 関連で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「3)環境適合性 関連で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「2)標準経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路需業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 「4)優先性 「2)に多くな時間と労力を要している本地区においては、は場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路等業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。	で、用排れ	水路・農道等:	が未整備なため、	関	連事業 2	級河川八:	多川改修工	事		
は場整備により、耕地の区画形質の改善、用排水路や農道等の整備、農地の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。										
善、用排水路や農道等の整備、農地の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残土等を活用して基盤盛土を行った後、ほ場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 (1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。					県	道山田三	田線道路改口	良工事等		
図化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残土等を活用して基盤盛土を行った後、ほ場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 部価結果の説明 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎずいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 「役資効率103、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。ほ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 「は、海軍業とのの対理・対策を集団の関連を発展を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 「営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 「芸農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 「芸農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。										
て、農業経営の安定化を図る。 本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残士等を活用して基盤盛士を行った後、ほ場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残士が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点										
本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残士等を活用して基盤盛士を行った後、ほ場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残士が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。 しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点				(国:50%、県	: 27.5%、市	:15%、地元	: 7.5%)		
 進捗状況 て基盤盛土を行った後、ほ場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点	て、農業組	経営の安定化	を図る。							
い公共残土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 評価結果の説明 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、遺等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、供せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1・03、所得償還率7・8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。										
初工期より遅れていた。 しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 (1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。 このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。 ほ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 (3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ境整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価 継続妥当 の と 上記内容により継続が妥当と認められた。 理価 継続妥当 の と 上記内容により継続が妥当と認められた。	進捗状況	· ·	て基盤盛土を行っ	た後、	ほ場整備を	を実施して	いるが、社	上会情勢等の変化に伴		
しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は 換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点 (1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、 すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整 形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要して いる。 このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るために は、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換 地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積 を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。 ほ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備 を行っている。 (3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極 的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業 により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業と の一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価のの 経続妥当 ないます。 といる本地区においては、ほ場整備事業 により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業と の一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。					田土の確信	呆に時間を	要したこと	:から、事業工期が当		
換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。 評価視点		-	初工期より遅れて	いた。						
評価視点 (1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。ほ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 (3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価と概続妥当 ないる。 上記内容により継続が妥当と認められた。 理由			しかし、面工事	も平成	112年度	で完了した	こことから、	平成13年度以降は		
(1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。	換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である						『了の予定である。			
(1)必要性 当地区は、水稲、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。										
すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。 このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。				:-			- 1 11 4- 21			
形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。 このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。 ほ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 (3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 証 経続妥当 の理	(1)必要性							-		
いる。										
このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。				・追路	も	なため、国	『農に多大な	は時間と労刀を要して		
は、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。			- •	`` `		2 22 6 5 5	7.77 7.8° UKJ-# 60	いてルルチ回っとせた		
地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。										
を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。 (2)有効性・効率性 投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。										
(2) 有効性・効率性 投資効率 1 . 0 3 、所得償還率 7 . 8 %であり、事業としての効果が十分に期待できる。										
分に期待できる。			を促進し、生産	性の高	い辰美倆)	亘を美現 9	る必要かめ) ර		
分に期待できる。	(2) 右	- 动物树	- 投资 効率 1	U 3	新 担模漂落	玄7 0 0 / /	であり 車	要としての効田が土		
は場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。 (3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価 継続妥当 の	(4)有知性	い一次			/川守頂返	~ / . 0 %	」しめり、手	未てしての別未か「		
を行っている。 (3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価 継続妥当 の 上記内容により継続が妥当と認められた。 理由	101 1010 1 = 10						かど 効変的か敕供			
(3)環境適合性 周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価 継続妥当 の 上記内容により継続が妥当と認められた。 理由										
的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性			を11 フ C いる。							
的に利用するなど環境保全に努めている。 (4)優先性	(3) 瑨 / 诗 谚									
(4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。										
により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。	pjic型のするなと表光体土に力のてVIO。									
により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。	(4)優先性 営農に多大な時間と労力を要している本地区においては ほ場整備事業									
の一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。 評価 生記内容により継続が妥当と認められた。 の 理由										
評 左 価 継続妥当 の 上記内容により継続が妥当と認められた。 の 理 結 由										
価 継続妥当 の 上記内容により継続が妥当と認められた。 の 理			. ,, ,, ,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_ .,	,			· = -···· · = •		
価 継続妥当 の 上記内容により継続が妥当と認められた。 の 理	評	1;	左							
結	I I			こり継続	抗が妥当と記	忍められた	0			
結										
	結		由							
<u> </u>	果									